

財団法人8020推進財団  
平成22年度歯科保健活動事業助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：保健医療介護職種への事業所歯科健診事業

2. 申請者名：千葉県歯科医師会 会長 浅野薫之

3. 実施組織：

事業主体：千葉県歯科医師会 地域保健医療委員会

協力団体：医療法人沖縄徳洲会 四街道徳洲会病院(四街道市)、医療法人財団みさき会 たむら記念病院(銚子市)  
千葉県がんセンター(千葉市)、千葉県民間病院協会、千葉県介護保険関係団体協議会  
千葉県歯科病診連携連絡協議会・千葉県歯科衛生士会、食育を支える千葉県口腔保健円卓会議

4. 事業の概要：

歯科保健医療の重要性に関する認識は、地域住民、行政はもとより、関係職種にもかなり浸透してきているが、自らの健康が後回しになりやすいのが保健医療介護職種の傾向であると考えている。千葉県歯科医師会では、歯科保健医療の重要性を一層関係職種に体験してもらおうべく、保健医療介護職種への成人歯科健診をモデル的に展開することを目的として事業設計を行った。関係職種に歯科保健医療の重要性を自らの体験として獲得してもらい、他団体との連携業務の展開の一助とする。また、一般健診を担当する関係職種から成人歯科健診の一般健診との併用を勧奨することについても図ることを目的とする。

5. ー1 事業の内容：

(1) 事業周知、実施のための会議開催

① 食育を支える千葉県口腔保健円卓会議において事業周知とアンケート項目について協議をした

② 千葉県介護保険関係団体協議会第5回幹事会において構成団体に事業の協力要請を行った。

③ 千葉県民間病院協会会長に事業への協力要請を行った。それを受けて千葉県民間病院協会全大会において、会長より健診実施を希望する医療機関を募ったが、希望は出なかった。

④ 以前より本会諸事業にご協力頂いている四街道徳洲会病院が本事業にご協力くださった。

⑤ 千葉県歯科病診連携連絡協議会において、本事業の紹介と協力をお願いしたところ、千葉大学丹沢教授より紹介があり、銚子市にある田村記念病院に本事業をお願いすることができた。

⑥ 千葉県がんセンターとの連携において、本事業実施について協力の申し出があり、日程調整や協力するマンパワーも確保したが、2月上旬にマスコミに報じられた当該病院歯科の歯科医師による麻酔行為についての対応のため、千葉県がんセンターからの申し出により本事業実施を取りやめた。

(2) 病院就労者の歯科健診と口腔に関する意識調査

上記④⑤の協力病院において、病院職員に対して、歯科健診と簡単な指導、および食生活などに関する調査票による調査を行った。調査票については、提出が若干遅かったこともあり、詳細な分析は東京歯科大学衛生学講座へ依頼中であるが、今回は担当理事が簡単なコメントを添付する。

5. ー2 アンケート、口腔内健診結果概況

(1) 受診者総数 118 名であった。(アンケートのみ 13 名、健診及びアンケート 115 名)

(2) 健診受診者の未処置歯数の年代ごとの平均は、20代2.76本、30代2.68本、40代2.88本、50代2.35本、60代2.65本とすべての年代において、全国平均(平成20年度実態調査)を大きく上回っていた。

(3) CPITNコード3以上は、20代4%、30代16%、40代29%、50代21%、60代50%と各世代全国平均以下であった。

(4) 1日あたりの労働時間は、8.5時間が最も多く60%であった。一方10時間以上も4.6%あった。

(5) 休暇に関しては、90%が週1日以上取っていた。

(6) 食事に関しては、昼、夕食に関してはほぼ100%取っているが、朝食に関しては17%が欠食していた。

(7) 間食は87%が取っているが、1日2回以上が41%あった。内容は、スナック菓子、せんべい、清涼飲料の順であった。

6. 事業の評価

今回の受診者に関して、う蝕について注意が必要である。就労中の間食を多くの方が行っており、特にスナック菓子、清涼飲料を摂取していることがその一因と推測される。一方で歯周病に関しては、特徴的な傾向は認められなかった。就労条件に関しても、特に全身状態に影響を及ぼすような重労働は認められなかった。朝食の欠食と間食に関して、今後さらなる追跡調査が必要であると思われる。